

# 第23回全国消防救助シンポジウムの開催

## 消防庁国民保護・防災部参事官

令和2年12月3日（木）、「救助活動中における予期せぬヒヤリハット・危険事故事案について」をテーマに、第23回全国消防救助シンポジウムを東京都文京区の文京シビックホールにおいてインターネットライブ配信により開催しました。

横田消防庁長官の開会挨拶（次々頁に掲載）に続き、安藤全国消防長会会長から御祝辞をいただいた後、兵庫県こころのケアセンターの大澤智子氏から「消防職員の惨事ストレス～理解と予防～」と題し、御講演をいただきました。また、横浜市消防局の南部忠芳氏には、「京浜急行本線列車脱線事故活動」について報告をしていただきました。



安藤全国消防長会会長の祝辞（事前収録）

その後、全国の消防職員・救助隊員を代表して、8名の方に事例研究発表をしていただきました。高い問題意識と旺盛な探究心を持って、危険事故に対する対策や取組みに努め、平時からの危険予知活動等に積極的に取り組んでいる姿を伝えていただきました。総合討論では、講演者、特別報告者、事例研究発表者を交えて活発な意見交換が行われました。

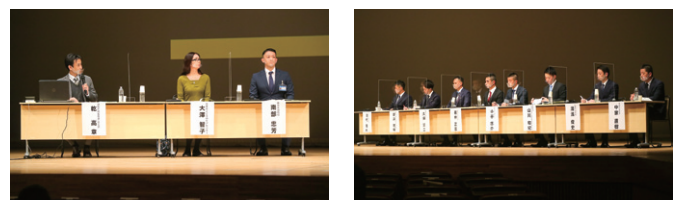
本シンポジウムは、全国各地から約2,000名の消防防災関係者に視聴していただき、危険事故における経験や新たな取組みに関する情報の共有化が図られ、大変活気のある有意義なものでした。本シンポジウムが我が国の救助体制のより一層の充実に寄与することを期待します。（当日の記録集については、年度末に消防庁ホームページに掲載予定。）



大澤 智子氏の講演（ライブ配信）



南部 忠芳氏の特別報告（ライブ配信）



総合討論の様子（ライブ配信）

## 第23回全国消防救助シンポジウム プログラム

I 開会 (10:30 ~ 10:35)

あいさつ 消防庁長官 横田 真二

II 祝辞 (10:35 ~ 10:40)

全国消防長会 会長 安藤 俊雄 様

III 講演 (10:40 ~ 11:30)

「消防職員の惨事ストレス～理解と予防～」  
兵庫県こころのケアセンター 上席研究主幹 大澤 智子 氏

IV 特別報告 (11:30 ~ 12:10)

「京浜急行本線列車脱線事故活動報告」  
横浜市消防局 特別高度救助部隊 第二係 総合指揮隊 担当隊長  
消防司令補 南部 忠芳 氏

----- 昼休憩 (12:10 ~ 13:00) -----

V 事例研究発表 (13:00 ~ 15:10)

※発表順

消防本部名	氏名	演題
北九州市消防局	濱村 雅大	豪雨災害による土砂崩れ現場での救助活動中に発生した地震
砺波地域消防組合消防本部	新井 祐稀	積雪時の高所からの救助活動事案
倉敷市消防局	久保 賢二	浸水域における建物からの救出活動中に発生したヒヤリ・ハット事例について
川越地区消防局	若林 正憲	交通救助事案における二次災害発生防止対策について

----- 休憩 (14:00 ~ 14:10) -----

岡山市消防局	小谷 悠介	火災現場における民間重機による受傷事故について
鳥取県西部広域行政管理組合消防局	山川 和紀	特殊環境下における安全な潜水活動を目指して
川崎市消防局	湯浅 俊史	軌道敷地内の交通事故による感電事例について
大阪市消防局	中家 直樹	ヒヤリハット・危険事故事案に対する取り組みについて

----- 休憩 (15:10 ~ 15:25) -----

VI 総合討論 (15:25 ~ 16:15)

「討論テーマ：予期せぬヒヤリハット・危険事故事案に如何に対処していくべきか」

司会：消防庁国民保護・防災部 参事官補佐 乾 高章

VII 閉会 (16:25 ~ 16:30)

あいさつ 消防庁国民保護・防災部 参事官 渡邊 勝大

## 横田消防庁長官の開会挨拶

第23回全国消防救助シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響によって、例年の実施方法とは異なり、インターネットライブ配信という形になりますが、本日、救助シンポジウムを開催できることを、主催者を代表して、深く感謝申し上げます。

また本日は、全国消防長会 安藤会長にご祝辞をいただくとともに、兵庫県こころのケアセンターの大澤様には、メンタルサポート等で得られた経験談、PTSD等に対する知識や留意点を主題にご講演をいただくこととなっており、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の災害を振り返りますと、全国各地の様々な地域で自然災害が発生しており、昨年は「令和元年房総半島台風」や「令和元年東日本台風」が、本年も「令和2年7月豪雨」が各地で甚大な被害をもたらすなど、自然災害による被害は後を絶ちません。このような災害に対して、皆様には、地元消防本部はもとより、被災状況によっては県内消防応援隊や緊急消防援助隊として出動していただき、多くの方々に救助していただきました。

救助隊員の皆様には、昼夜を分かたず身を挺して懸命な救助活動を実施していただいていることに改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

このように頻発・激甚化する自然災害のみならず、昨今の都市構造や社会基盤の変化に伴って、複雑多様化する救助活動の現場では常に命の危険と隣り合わせです。救助隊員の皆様には、これまで以上に災害に対する高度な危険予知能力が求め



横田消防庁長官の開会挨拶（事前収録）

られています。

本日の救助シンポジウムでは災害における危険予知能力の向上を目的とし、「救助活動中における予知せぬヒヤリハット・危険事故事案について」をテーマに、日々の救助活動の中で学んだ教訓や気づきを皆様と情報共有して、我が国の救助技術の更なる発展につなげていくことを期待しております。

消防庁におきましては、緊急消防援助隊や常備消防力の充実強化、消防団を中核とした地域防災力の充実強化など、消防防災体制の充実強化に引き続き取り組んで参ります。皆様におかれましても、より一層の救助体制の充実強化を図られますようお願い申し上げます。

結びに全国の消防関係機関のますますのご発展と、ご視聴いただいている皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

### 問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係  
総務事務官 胡 和樹  
TEL: 03-5253-7507